

## 「コンテンツによる地域のお城の理解と認知向上」と 「お城訪問ツアー」開催による観光振興

攻城団合同会社

### 事業の目的

「テーマのある旅」として、全国のお城をめぐる方は年々ふえています。日本全国には国宝5城、現存天守12城をはじめとして、じつに多くの城跡があります。例えば滋賀県彦根市のように、彦根城と佐和山城のようにひとつの市内に複数の城跡があるケースや、「信長の城」や「日本三大山城」といったテーマごとにお城をめぐる、といったように次の訪問先を選ぶには困らないほどです。その一方で対象が膨大であることから「次にどこのお城にいこうか」という選択肢も多いため、あまり知られていないため、「次にいくお城の選択肢」になかなかあがらないお城も多くあります。選択に上がらない要因は大きくありますが、当社では（1）知ってもらうためのコンテンツ不足と（2）お城にまつわる情報発信の不足の2つに、その課題を絞り込み、コンテンツ配信によって、お城に対する理解と認知を向上させ、興味関心をもってもらうことで、現地を訪問する着地型旅行の商品化による観光振興の推進を、本事業の目的としました。

### 事業実施方法

まずは「お城にまつわる歴史」をわかりやすくつたえるために、マンガで伝えると

いう手法を取りました。マンガを通してそのお城や歴史の背景を「知ってもらう」ことから始めます。マンガという手法を用いたのは「わかりやすく」伝えることができるからです。また全国に「伝えて」ひろげていくためにインターネット、今回h当社が運営するウェブサイト（攻城団 <https://kojodan.jp>）を通して、日本全国の「お城が好き」で「じっさいに頻繁にお城にでかけている」という方々に情報を伝えました。またマンガづくりと並行して、現地にやってきた方がお城めぐりをしやすくなるよう利便性を重視し「着地型旅行」の商品化にも取り組みました。今回の取り組み対象としたのは次の2ヶ所です。

- 1) 七尾城（石川県七尾市）
- 2) 丸岡城（福井県坂井市）

## 事業実施の流れ

### ■七尾城のマンガ制作

2017年10月7日～8日：現地取材



2017年12月29日：マンガ本編公開



(画像提供：大久保ヤマト氏)

2017年10月10日：取材レポート公開

### 七尾城にマンガの取材旅行に行ってきました

#### 公開されました!

このとき取材したマンガが公開されています。  
● [マンガでわかる七尾城](#)

三連休の土日は漫画家の大久保先生とっしょに七尾城を取材してきました。  
まず初日は七尾城史資料館を訪問します。



資料館では七尾城址文化事業団・常務理事の古川さんに説明をお願いしました。  
まずはCGで再現された七尾城のDVDを見ます (たぶん訪問した人はみんな見ますよね)。

### ■丸岡城のマンガ制作

2018年1月27日～28日：現地取材



2018年1月30日：取材レポート公開

丸岡城にマンガの取材旅行に行ってきました

先週末は新作マンガの取材のために、大久保先生といっしょに丸岡城を訪ねてきました。昨年夏に公開した七尾城のマンガについて、第2回はここ丸岡城が舞台となります。



寒波の影響で全国的に雪が降っており天候だけが心配だったのですが、2日間の取材で吹雪くことはなく、かえって雪国・丸岡をちゃんと見ることができたかなと思っています。福井駅でコースクさん、大久保先生と合流して、JRで丸岡駅へ。駅からタクシーで丸岡城へ向かいます。ずっと曇りだったのですが、現地に着いた瞬間に青空が少し見えたので、ランチをあとまわしにしてまずは天守の写真を撮りにいきます。

というステップです。

※実際に着地型旅行商品を企画し、募集・開催するのは旅行会社になります。

コンテンツによる認知の効果と推察  
コンテンツ公開後の数字情報です。

■七尾城

取材レポート記事（10月10日公開）	
PV	233
閲覧者数	184
平均滞在時間	5分38秒
マンガでわかる七尾城（12月29日公開）	
PV	2,278
閲覧者数	1,726
平均滞在時間	14分44秒

2018年2月17日：マンガ予告編公開



■丸岡城

取材レポート記事（1月30日公開）	
PV	230
閲覧者数	183
平均滞在時間	26分54秒
マンガでわかる丸岡城（公開待ち）	
PV	公開待ち
閲覧者数	
平均滞在時間	

(画像提供：大久保ヤマト氏)

だまかながれとしては

1. コンテンツ作りに向けた現地取材
2. 取材レポート記事の配信
3. マンガのネーム作成
4. 着地型旅行商品の企画開発
5. マンガ執筆
6. マンガの公開

インターネットに公開された記事のいいところは、記事がずっと公開されているため長期に渡って「みてもらえる」ということです。たとえば雑誌や新聞だと流通直後は目を引きますが、流通がおわるとよほどのことがないかぎり記事が人の目に触れることはありません。表には「平均滞在時間」

という表示がありますが、これは閲覧者がそのページをどのくらい見ていたかという指標になります。

マンガでわかる七尾城の場合は、16P のマンガに対して14分44秒、約15分とすると、1ページあたり1分6秒換算になります。こうした点から

- ・1,726のページ閲覧者の方々に
- ・しっかりマンガを読んでもらえた

ことがわかり、七尾城についての認知と理解が高まっていることが推測できます。また興味がないかたは、すぐにページから離れてしまうであろうことから、「興味関心度合い」も高めることができたのではないかと考えられます。

マンガでわかる丸岡城については、本編公開は2018年4月を予定しており、取材レポート記事と予告編マンガが公開されています。(表はレポート記事のみ)。

取材レポート記事の数字を見る限り、七尾城と近い数字ですので、マンガ本編公開時にもマンガでわかる七尾城と同水準の数字になるのではないかと考えています。

#### 着地型旅行商品の開発

コンテンツ制作・公開と並行してすすめていた着地型旅行商品の企画・形成・販売・開催についてです。七尾城については関係各所との調整をすすめておりましたが、冬季には入り城時の安全が担保できない点により本事業年度での開催は見送りました。

丸岡城については企画概要・商品内容ができあがったものの、開催することができませんでした。

2018年3月初旬の開催予定で、旅行会社にて募集をおこないましたが、申込受付期間中に福井県をはじめ北陸地方に数十年ぶりの豪雪に見舞われました。天候だけが理由ではないと思われませんが、申込みが停滞し、旅行の最低催行人数に到達できなかったため、中止になりました。次年度引き継ぎ、イベント開催から着地型旅行によるツアー開催は予定をしておりますが、今年度はとても悔いの残る出来となりました。

#### 今後の当事業の計画について

今後の予定としては

1. マンガコンテンツ制作
2. マンガ完成と併せたイベント開催
3. 着地型旅行商品の企画開発
4. 旅行業企業との協力で着地型旅行の実施という一連の流れを仕組み化することを計画しております。とくに2.については新しい取り組みとして実施を考えております。今回の事業でマンガをウェブサイトから配信することが、お城についての認知と理解について一定の効果があることが認められました。であれば、こちらから更に届けにいく仕組みとして、イベントを地元もしくは都市部で開催することによって、「興味関心」をもつ人を対象に情報を伝え、お城・現地をおとずりたいという気持ちを喚起することができるのではないかと考えております。

## まとめ

いま旅行は、かつての団体旅行から個人旅行にシフトしはじめています。また物見遊山、ショッピングを楽しむだけでなく、「テーマのある旅」が主流になりつつあります。本事業では地域の資源である「お城」という歴史財産を活用した観光振興に取り組んでいます。その取組みは地域の方々と「地元のお城への理解」「かつてこの地(城)にどんなドラマがあったのか」「この地と、関連がある地域はどこか」などをともに、学び知っていき、その知ったことをインターネットを通して、全国のかたがたと「共有」することで、現地を訪れたくなる・訪れるための「着地型旅行商品の企画」をおこない提供する仕組みづくりを通して、地域への交流人口をふやしていくことを進めていく計画です。